

～セルクルサークル紹介～

青森中央短期大学の幼児保育学科にはサークルの時間が一週間のうちに一回、時間割の中に入っています。そのため、プライベートな時間を確保しながらサークルの中で様々な体験、貴重な体験をすることができます。（短大のサークルは時間割の中でサークル活動が終了するものがほとんどです。）

その中で今回は、私が所属している「**セルクルサークル**」について紹介します。

小学校の低学年の子どもたちや支援を必要とする子どもたちを対象に、授業での学びの支援や昼休みに一緒に遊んだりしています。一緒に授業に取り組んでいる中で子どもと一緒に「できた」という喜びを分かち合えたり、教えたときに「ありがとう」と伝えてくれるため、とてもやりがいがあります。私は小学校の4時間目の授業の支援を行っています。授業内容はその時々で変わり、支援するクラスも変わるため、様々な教科の中でどのように支援を行えば生徒のやる気を出せるのか、生徒が自分の力でできた喜びや達成感を強く味わうことができるのかを考えられるいい機会になっています。例として音楽の授業では一緒に歌を歌ったり、算数の授業では一緒に解き方を考えたり、ヒントを出したりします。うまく伝わらないときや、やる気を引き出すことができないときもあり大変なこともあります。その分とてもやりがいを感じています。また、小学生との関わりではありますが、声掛けの仕方や援助の仕方など保育者として活かせる部分も大変多く、とても貴重な体験であると感じています。

